ダイナミックな読みに取り組ませる授業展開例

《2年生》

- 視覚的にとらえる工夫で長い文章全体をつかませよう -

教材名:「走れメロス」(東京書籍『新しい国語2』)

学習状況調査との関連

文章の構成や展開をとらえ、現在のことと過去のことを整理する問題で通過率が低い。



回想場面を用いた文章構成を理解させる学習が必要です。

文章の展開に即して内容をとらえ人物の心情を答える設問の通過率が低い。 表現を手掛かりにして登場人物の心情を読み取る設問で通過率が低い。



部分のみではなく,文章全体の流れの中から登場人物の心情を読み取らせる指導や,表現に 注意しながら心情を読み取らせる指導が必要です。

設定した言語活動とそのねらい

物語地図を作る

- ・ 文章全体を視覚的にとらえさせます。
- ・ 時間の流れに沿って物語を整理し直させます。
- · 時間の流れに沿っていない展開から作者の表現の工夫を読み取らせます。

地図に建てる碑について考えさせる

- ・ 出来事と主人公の心情を表す碑文を考えさせます。単なる説明としての碑文ではなく、味わい ある言葉になるよう表現を工夫させます。作品の表現をまねながら考えることにより、表現に注 目して人物の心情を読み取ると同時に、作者の表現の良さを吟味させることになります。
- ・ 碑文を書く中で,作者の表現をまねて"試しに使ってみる"ことは使いこなす前段階となり, 作品中の言葉を使用語彙へと近付けることになります。
- ・ 主人公の変化から一番大きな碑の場所を考えさせます。主人公メロスの物語をどう解釈するか ということを,メロスの心情の変化を追って全体の流れの中から考えることになります。

単元の指導目標

- (1) 表現に着目し作者の工夫を考えながら読む楽しさを味わわせる。〔関心・意欲・態度〕
- (2) 効果的な語句の使い方や描写,比喩などの表現に気を付けながら,主人公の心情について読み深めさせる。[C 読むこと(1)ア,ウ〕
- (3) 作品の表現から語感を磨き語彙を広げさせる。〔言語事項(1)ウ〕

単元の評価規準

- ア 他者の考えを参考にしながら碑について考えようとしている。[関心・意欲・態度]
- イ 登場人物の心情を表す作品中の語句や表現をとらえ、その効果について考えている。

〔C 読むこと(1)ア,ウ〕

ウ 作品中の語句や表現を使いながら,碑文を作成したり考えを述べたりしている。

〔C 読むこと(1)ア,ウ〕

エ 心情表現にかかわる抽象的な概念を表す語句に気を付けて作品を読んでいる。〔言語事項(1)ウ〕

単元計画 「雨の日のおさんぽ」(光村図書・小学2年生 教科書教材)を使って ,「物語地図」の作成 を体験する。 学 「雨の日のおさんぽ」は現在の中学校2年生にとって既習教材です。雨が降った日に,以 漝 前から着たかったレインコートをやっと着て主人公(ぼく)と祖母とが散歩に出掛ける,と いう物語で、短時間で通読できます。橋、森などをあらかじめ書き込んだワークシートに、 に 教師の通読を聞きながら主人公がたどった道筋と出来事,主人公の心情を記入させます。 λ 新出漢字や難語句については事前に取り扱い、必要であれば辞書で調べさせておく。 る 前 辞書的な意味を知ることと作品の中での意味を考えさせることを同時進行させず,生徒が言 葉を吸収していくために段階を踏ませます。読み始めたら文章に集中させ,初読の感動がとぎ に れないようにします。 ジグソーリーディングなどの,作者の「仕掛け」に注意して読む読み方を経験しておくと, 今回の表現の工夫に着目する学習にスムーズに入れます。(ジグソーリーディングについては25 ページ参照) 時 学 習 活 動 評価規準と評価の方法 全文を通読し,メロスがたどる道筋を地図に書 イ 時間の流れに沿って,あらすじをまとめ 1 き込み, あらすじをとらえる。 物語を整理している。 【ワークシート 1(物語地図)】 〔ワークシート ,観察〕 2 地図と本文とを照らし合わせ,展開を考える。 |イ 時間の流れに沿って展開を整理してい 【ワークシート 1(物語地図)】 る。 〔ワークシート ,観察〕 学習課題について話し合う。 碑に刻む言葉の作り方を知る。 【ワークシート2】 他者の意見を参考にしながら碑文を考える。 ウ 場面状況,登場人物の心情が明らかにな 3 るように作品の表現を使って碑文を書いて いる。 〔ワークシート,観察〕 ア 他者の意見を参考にしながら,碑文に書 【ワークシート2】 き加えをしている。 碑文とそれを作る際に工夫したところ,工夫で ア・イ 他者の発表を聞きながら,自分が気 ねらったことを発表し合う。 付かなかった表現の良さと効果について書 き加えている。 【ワークシート1(物語地図)】【ワークシート2】 〔ワークシート,観察,発表〕 5 主人公の心情と人物像の変化から一番大きな碑 ウ・エ 主人公の心情,人物像の変化を作品 を建てるところを考え、発表し合う。 の表現を根拠に考えている。 〔観察,発表〕 ア 自分とは違う読みと比べて自分の読みを 確かめようとしている。 【ワークシート1(物語地図)】 〔ワークシート,観察〕 学習を振り返り,読書への見通しをもつ。 ア 文学的文章を読む楽しさに気付き、読書 への意欲をもっている。 〔自己評価,観察〕

1/5時

1 朗読を聞きながら,あらすじをとらえる

2 条件に沿って初読の感想を書く

初読の感想の書き方を指示します。

(1) 内容についての感想(初級)

以下のような記号を使い箇条書きにさせます。

「♡ 感動した

おもしろいと思った

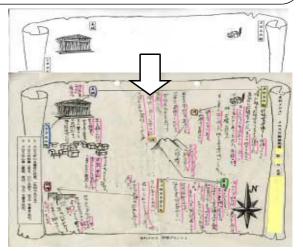
し? なぜだろうと思った など

感動やおもしろさを感じたところから作者の 表現の良さに気付くように導いていきます。

なぜだろうという生徒自身の文脈と教材との ずれも理解への大事な道筋になります。

(2) 作者の執筆方法についての感想(中級)として,作者はどのような"しかけ(工夫)"を使ったかについて書くように指示しました。

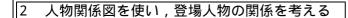
主要な場所の名前のみを印刷したシートに主人公のたどった道筋などを書き込ませていきます。



ワークシート1 物語地図記入例

2/5時

1 展開を確かめながら色分けする



3 初読の感想を共有し,学習課題を考える

生徒には次のような個人差が考えられます。



教科書への書き込みの様子

- 1 初読の段階から表現の特徴や作者の執筆意図まで迫っていける生徒
- 2 初読の段階では,作品の内容に浸って読んでいる生徒
- 3 初読の段階では、作品の内容の把握も不十分な生徒

2,3の生徒には,作品の内容に浸ってそのおもしろさを楽しむことを最初のステップとし, その楽しさを足掛かりにしながら,「感動やおもしろさはどこからくるのか」ということに目 を向けさせることによって,作者の"しかけ"へと視点をスムーズに転換させます。

4 碑文作成の視点について知る

生徒は1年ときに「碑」を学習しています。その中に出てくる碑には、碑を建てた人が後の世の人に伝えたかった深い思いが込められていたことを振り返らせます。また、あの碑は、当時の校長先生による短歌が刻まれた歌碑と対になっていることを紹介します。ただの案内や説明ではない味わいのある碑文を考えさせるための準備とします。(「碑」に出てくる碑については、広島平和記念資料館ウェブサイトのHPで見ることができます。)

3~4/5時

本時の学習課題を確認

前時に示した例を振り返り、碑文の作り方について

確認させます。

なければならない正義のため友のために行い味をさっさと駆け下りたたちまち三人を殴り倒し 峠 太陽が明るく輝いていた を下るメロスの向こうに スは山 のごとく猛然 賊に 囲ま 擊 れ に行

「~のごとく」というのは,詩 の学習のときに"比喩"と習った 「~のように」と同じ使い方だ。

登場人物の心情を象徴するよう な表現があるね。「初夏満天の 星」のところで考えたね。

まだ他にもあるかもしれない。

中級

じ

き

めあて:表現を工夫しながら碑に刻む言葉を考えよう

う。

碑

文の 例

場

所

峠

碑の条件を提示します。

か

- 出来事が分かる
- 2 主人公の心情が 分かる
- 3 表現の工夫をする

どのような碑文を作る のかが分かるように,ゴ ールの姿を具体的に示し ます。

誰 も 見 付

を た 把 順 使う。 表 握序 現やの の友工 け 人夫 I 夫の も て l١ の 感 含 中 想 め な から三つ l١ Ţ 表 現 であ 出ら を 使

陽 峠 め山 がを 友 賊 明下 を守るために走ろう に のるくメ は 順 乂 気 に 輝 の い スの 毒 て だ しし 向 が た。 こうに 正 義 の 太 た

工夫した一文 心情

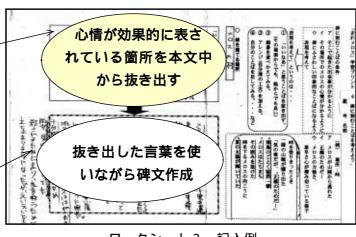
を 山 初 打 賊 級 ち に 倒 囲 例 して逃れ ま れ たメロ こスは 出来事

2 碑文を作る際参考にしたい表現を抜き出す

作文学習の際の構想メモのよ うに,碑文の中に使いたい言葉 を「走れメロス」の本文の中か ら抜き出させます。

抜き出すことができない生徒 には, 読後の感想の中の, 感動 した部分などを振り返らせます

抜き出した言葉を使いながら 碑文を作っていきます。



ワークシート2 記入例

3 グループのメンバーが使った表現を参考にして,自分の碑文を作り上げる

再び走り出したと ころの「走れ!メロ ス」は「」がないけ れど,だれかが話し ているような書き方 だ。



グループでの話合いの様子

このへんは「。」 が多くて文が短い よ。焦っているよう な感じがするね。文 の長さを考えてみよ う。

「メロスは激怒した」という書き方も,時間の流れどおりでは なくて印象的だよね。碑文も書き出しを工夫しよう。

4 本時の学習について振り返り,次時への展望をもつ

4/5時は表現の工夫とその効果について話し合うことを確認します。

「信じられているから走るのだ」 「信じられているから走るのだ」 外口スは黒い風のように走った 呼吸もできず、二度三度口から血 が噴き出た もりの分からぬ大きな力に引きずった られて走った られて走った

生徒作品例

「いや,まだ日は沈まぬ」とは,だれがだれに言っている言葉なのかな。

「いや,~」は自分自身に言い聞かせている言葉で,メロスの祈るような気持ちを表現しています。その「胸の張りさける思い」にも注目させ,「もっと恐ろしく大きいもの」の存在に気付かせます。教師は生徒の読みが深まるよう話合いの中にも介入しましょう。

(4/5時)の生徒発表と協議の例

「信じられているから走るのだ」という書き出しにして,友の信頼に報いたいというメロスの強い決意を印象付けたいと思いました。

「黒い風のように走った」という 比喩法を使ったところは,メロスが 速く走ろうと必死になっている様子 が表現できていると思います。



碑文発表の様子

文末を「~走 った」と繰り返 すことで,メロ スがひたすら走 っている様子が 表れています。

「いや,まだ日は沈まぬ」はフィロストラトスに言っているようで もあるけれど,メロスが自分に言い聞かせているようにもとれるよ。

5 / 5 時

1 前時までに完成した各場面の碑文を読み返しながら,作品全体を俯瞰させる

めあて:一番大きな碑はどこか考えよう

2 大きな碑の場所を根拠をもって考える

メロスという人物が一番大きく変化したところに一番大きな碑を建てよう。

人物の変化を作品全体から考えることになります。完成した一人一人の物語地図に大きな碑を建てる場所を書き込み,根拠とともに発表させます。

大きな碑を建てるところは草原だと思います。そこより前のメロスは,「激怒」や「王に~見せてやろう」とあったように,ただ王に対する怒りから走っているだけだったけれど,その後走り出したときは「わけの分からぬ大きな力」によって走ったので,走る理由が違ったからです。

生徒の発言例

一番大きな碑の場所を収束的に結論付けるのではなく,自分とは違う解釈を聞くことによって自分の今までの読みを振り返り,生徒個々が抱いている「鑑賞」を深めさせるようにします。集団としての地図ではなく,現時点の個人の地図を完成させることになります。

友達の意見でなるほど!と思ったのは,「悪い心に一度は負けたメロスが,その後悪い心に勝った」という意見です。場所は私も同じ草原だったけど,体が疲れただけではなく,悪い心に負けそうになってそれに打ち勝ったというところが私と違っていました。

発表を聞いた後の生徒の発言例 1

草原で倒れたところで,メロスが王と同じ考え方になったというところがなるほどと思いました。変化はいつも悪から善と思っていたけど,善から悪という考え方もあっていいんだなあと思いました。メロスに王と同じようなところがあったなんて意外でした。

発表を聞いた後の生徒の発言例 2

3 読書についての見通しをもつ

読書に関する生徒の実態を考えながら、内容の関連した本、今回使った読み方が試せる 本、同じ作者の本など様々なつながりの本を紹介し、読書への見通しをもたせます。

生徒の反応

学習後の振り返りの中には,次のような生徒の言葉がありました。

- ・ 長い文章でうわーと思ったが,物語地図や碑文を考えたりしていたらとても分かりやすかった。
- ・ 文が長くて最初はいやだと思ったが、イメージができるようになってきた。
- · 普通に読んだだけでは分からないところが作者の工夫を考えたら分かってきた。
- みんなが意見を出し合うことでいろんな考えが分かった。
- ・『走れメロス』のような本なら読んでみたいと思った。